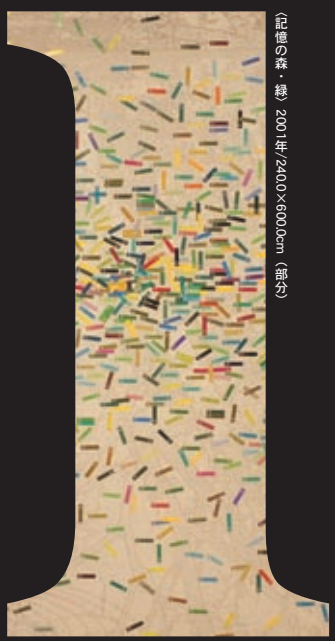
川田　祐子
Kawada Yuko

〈WHERE IS THE MOON〉2003年/227.0×145.5cm（部分）photo © 長塚秀人

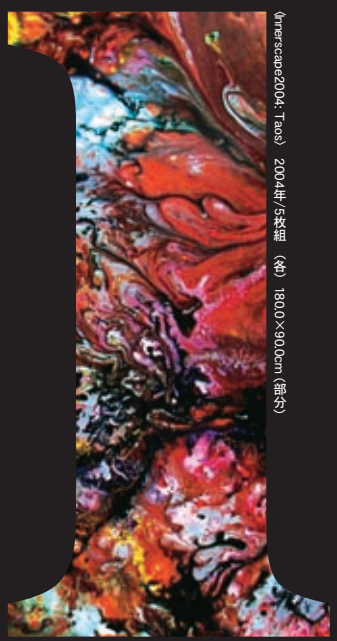
ワークショップ参加者募集！

天利　道子
Amali Michico



〈記憶の森・緑〉2001年/240.0×600.0cm（部分）

内海　信彦
Utsumi Nobuhiko



〈Innerscape2004: Taos〉2004年/5枚組（各）180.0×90.0cm（部分）

山本　直彰
Yamamoto Naoaki

〈Door D-1〉1996年/181.8×391.5cm（部分）

2005年2月25日(金)～3月20日(日)
午前10時～午後6時（入場は閉館の30分前まで）
＊休館日なし

入場料●一般（18歳以上）500円　※18歳未満無料

主催/横浜市民ギャラリー（財団法人横浜市芸術文化振興財団）
後援/神奈川新聞社、NHK横浜放送局、tvk（テレビ神奈川）、
RFラジオ日本、FMヨコハマ、横浜市
協賛/株式会社竹尾、株式会社ミナト事務器、
コニカミノルタビジネスソリューションズ株式会社
助成/財団法人地域創造

横浜市民ギャラリー

今日の作家展 2005

私をひらく美術

4人の作家によるワークショップと展示

宝くじは豊かさ築くチカラ持ち。

宝くじは、広く社会に役立てられています。

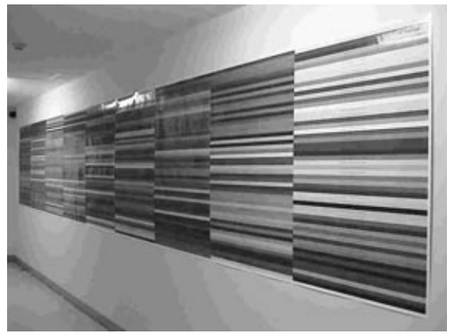
exhibition
展覧会情報

本展では、4人の作家の作品を展示するとともに、ワークショップが会場内で進行します。
アートとは、作家の表現を一方的に受けとるものだと思っていませんか？ ワークショップは、アートとのそのような従来的関係をこわす試みです。これまで作家の作品を見る側にいた人が、技法や素材や言葉をとおして作家の考えに触れ、作家とともに作品をつくり、見すごしていたかもしれない自身の表現力に気づくこと、それが今回のワークショップの目的です。一人一人がそれまで味わったことのないコミュニケーションの新しい回路をひらきゆかれることを目指して、サブタイトルを「私をひらく美術」としました。

天利　道子　Amali Michico

1954年東京都生まれ。史学科卒業後、1980年創形美術学校版画研究科を卒業。1980年より、各地の漁師が選ぶ海の色を取材し、その記録をもとにしたシリーズ作品＜漁師の選んだ海の色＞を展開。壁に構成した色の面と映像を組みあわせるなどの手法をとる。近年は鑑賞者参加型の作品も発表。誰もが日常の中で色についての芸術的な感受性を持っていることを提起する。

〈記憶の森・緑〉2001年 240.0×600.0cm ディックカラーガイド17版、インクジェットプリント、合成紙マットバナー(ユポ)（表紙の作品と同じ）



〈fishers and their Colors of the Sea〉1980年～ 115.0×729.0cm インクジェットプリント

内海　信彦　Utsumi Nobuhiko

1953年東京都生まれ。1975年慶應義塾大学法学部政治学科中退。1981年多摩美術大学絵画科油画専攻卒業。国内の他、アメリカ合衆国各地、ペルー、ポーランド、韓国などで個展、公開制作、講演、ワークショップを精力的に行う。墨やアクリル絵具、顔料のたらし込みや吹き付けにより、万物が生まれては消える宇宙観を大スケールで表現する。

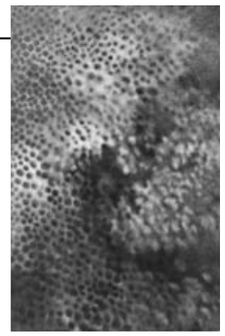
(a)

個展会場風景（2005年、ギャラリイK） photo © 内田芳孝

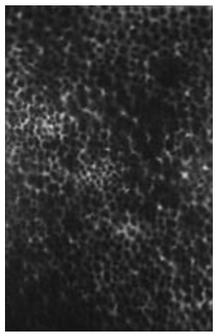
(a)、〈Innerscape2004: Taos〉
2004年 5枚組 （各）180.0×90.0cm
紙、アクリル、墨（部分）
（表紙の作品と同じ）

川田　祐子　Kawada Yuko

1962年東京都生まれ。1986-87年旧西ドイツに留学。女子美術大学芸術学部卒業。横浜国立大学大学院修了。何層ものアクリル絵具を塗り重ね、上から細く引っかいていくスクラッチ、面相筆による細い線を交差させながら重ねるハッチングにより、様々な色と形を浮かび上がらせる作品を発表している。



(a)



(b)

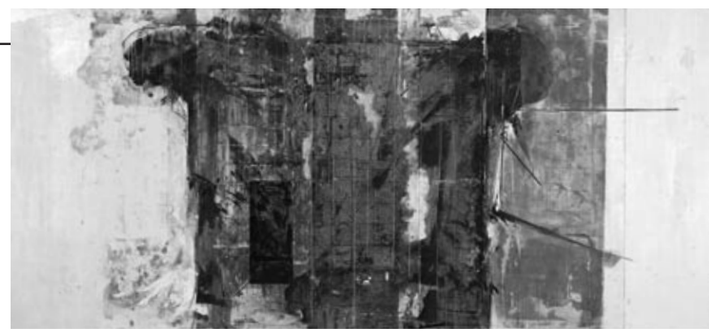
個展会場風景（2001年、GALLERY GALA） photo © 長塚秀人

(a)、〈WHERE IS THE MOON〉
2003年 227.0×145.5cm
アクリルガッシュ、キャンバス
（表紙の作品と同じ）
photo © 長塚秀人

(b)、〈WHERE IS THE MOON 月影〉
2003年 227.0×145.5cm
アクリルガッシュ、キャンバス

山本　直彰　Yamamoto Naoaki

1950年神奈川県生まれ。1975年愛知県立芸術大学大学院日本画科修了。1992年から翌年まで文化庁芸術家在外派遣研修員としてプラハに滞在。現在創画会会員。岩絵具と膠を用いた独自の技法により、「日本画」の枠を超えようとする繊細かつ大胆な構成の作品を発表。現代という時代と画家自身との切実な対話の痕跡が描かれる。



〈Door D-1〉1996年 181.8×391.5ｃｍ 麻紙、岩絵具、箔、樹脂膠（表紙の作品と同じ）

個展会場風景（2001年、コバヤシ画廊） photo © 末正真礼生

●ワークショップ申し込み方法

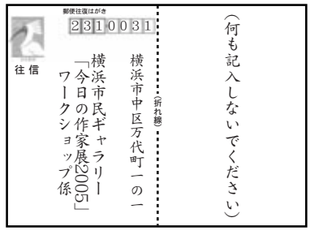
往復はがきにて。記入内容は記入例のとおり。
1人1講座につき1通。複数の講座への申し込みも可。
※ 定員を超える場合は抽選となります。

講座料払込み
受講の可否については「返信はがき」でその旨ご通知します。
受講料は指定の口座にお振込みいただきます
（口座番号は後日受講者にお知らせします）。
※原則として一旦納入された受講料はお返しいたしません。

申し込み先
横浜市民ギャラリー「今日の作家展2005」ワークショップ係
〒231-0031　横浜市中区万代町1-1　教育文化センター内

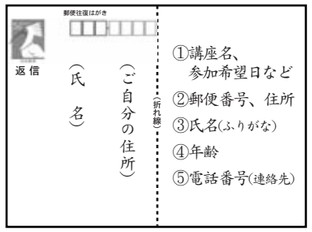
往信裏面
①講座名、
　参加希望日など
②郵便番号、住所
③氏名(ふりがな)
④年齢
⑤電話番号(連絡先)

※天利道子氏のワークショップについては午前か午後のどちらか、川田祐子氏のワークショップについては参加希望日も明記してください。



返信面
・郵便番号
・住所
・氏名

を明記の上、
ご応募ください。

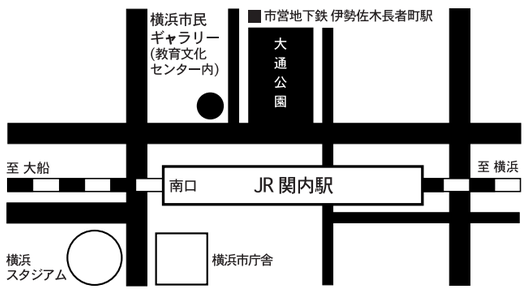


締切日(必着) 2月7日(月)
※ただし定員に達しない場合は締切日を過ぎても追加受付を行います。

※ワークショップの制作風景の写真や、つくった作品の写真は、後に各作家や横浜市民ギャラリーが広報印刷物などで使用することがあります（作品の著作権は各作家に帰属します）。つくった作品は参加者全員で会場に展示し、会期終了後にそれぞれの参加者にお渡しします。

お問い合わせ
横浜市民ギャラリー
tel 045-224-7920　fax 045-224-7928
e-mail　ycag@nifty.com
午前9時～午後5時
※ただし2月20日（日）は休館

交通案内
JR　関内駅下車　南口から徒歩1分
横浜市営地下鉄　伊勢佐木長者町駅下車　2番出口から徒歩5分



workshop
ワークショップ講座案内

出品作家のワークショップに参加しませんか。
最後にはできあがった作品を会場に展示します。
※申し込み方法は中面をご覧ください。

❶「Tシャツをキャンバスに」

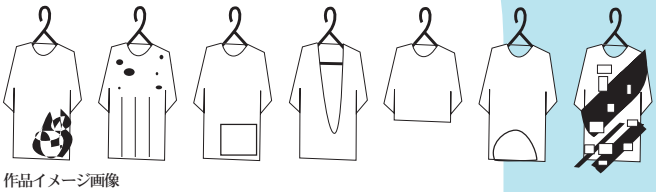
講師/天利　道子（あまり みちこ）

既製品のTシャツをベースに、切る、色の布を縫いつける、などの作業を通じて、自分の気持ちを表現します。普段衣服に隠れて見えない自分の内面を、外側に着てしまおうというワークショップです。ワークショップ中に作家からいくつかのアンケートが出され、あなたが答えた結果にそって、ある部分を「切り取る」「縫う」といった様々な指針が出されます。自分が最初にイメージしたのとは全く違うTシャツができあがるかもしれません。
さてお楽しみ！

2日間　2/26　3/5

対象　満18歳以上、定員各20名
日時　午前チーム　2月26日(土) 10:00－13:30
　　3月 5日(土) 10:00－13:30
　　午後チーム　2月26日(土) 14:30－18:00
　　3月 5日(土) 14:30－18:00
　　（それぞれ連続する内容です。2回ともご参加ください。
　　午前チームと午後チームは同じ内容です）
持ち物　裁縫用のハサミ、糸と針
参加費　1,300円

＊並縫い程度の作業がありますが、裁縫経験のない方でも大丈夫です。
＊2日目には、できあがったTシャツを着て一人一人写真をとります。そして作家が各参加者の写真の入ったタグを作り、Tシャツに取り付けて展示します。



作品イメージ画像

❷「色と形が生まれるとき－心と体を解き放ってみよう！」

講師/内海　信彦（うつみ のぶひこ）

床に広げられた紙の上に、墨汁や絵具を直接たらし込んだり、刷毛で激しくたたきつけたり、手でなぞったり、ドライヤーを吹き付けて流したり……。参加者みんなの心と体が自由に動き出す瞬間、宇宙に新しい生命が生まれるかのように、未知の風景があらわれます。グループに分かれて共同で大きな作品をつくりながら、『絵を描くこと』の既成概念を解き放とう！

3日間　2/27　3/6　3/13

対象　満18歳以上、定員30名
日時　2月27日(日) 11:00－16:30
　　3月 6日(日) 11:00－16:30
　　3月13日(日) 10:00－17:30
　　（連続する内容です。3回ともご参加下さい）
持ち物　汚れてもいい作業用の着替え（上下）など
参加費　7,600円

公開制作風景(1999年、リマ・ペルー)

❸「メモリアル・コラージュ-思い出を語り、形にしよう！」

講師/ 川田　祐子（かわだ ゆうこ）

思い出の写真をお持ちください。思い出を語りながら、思い思いの形に写真を切って台紙に切り貼りし、様々な色のボールペンの線を細かく交差させながら、写真に塗り重ねていきます（写真はその場でカラーコピーしたものを使い、元の写真はお返しします）。細い線の重なりに、あなたが過ごしてきた時間の層を思いながら、思い出をアートにしましょう。できあがった作品は、他の参加者の作品とともに、壁面に展示します(難しい作業はありません)。

1日間　3/1　3/3　3/8　3/12

対象　満18歳以上、定員各20名
　　＊思い出をたくさんお持ちの、ご年配のかたを特に募集します。
日時　3月1日(火)、3月3日(木)、3月8日(火)、3月12日(土)
　　13:00-16:45（1回完結。希望日を選んで下さい。各回内容は同じです）
持ち物　思い出、思い出の写真（10～20枚程度）など
参加費　2,000円

ワークショップ風景（2002年、静岡県立美術館）

❹「自画像をつくる－＜Door＞をきっかけに」

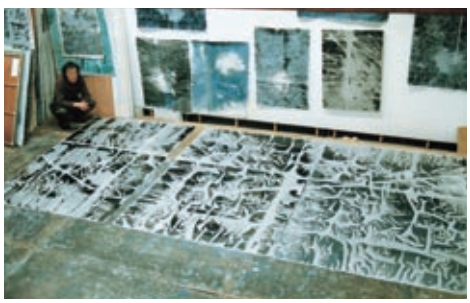
講師/山本　直彰（やまもと なおあき）

作家は、人が生きることの深い悲しみや生と死の衝突を描き、1990年代には、民主化後のプラハの街に打ち捨てられたドアに、現代人の姿と自分の心を象徴的に見出しました。このワークショップでは、いくつかの日本画の素材を使い、一人一人の心の「自画像」をさぐります。お手本はありません。できあがるのは、具象的な顔かたちかもしれませんし、思いもよらなかった色かたちかもしれません。あなたの心の輪郭を前よりも少しだけはっきりと描けたという実感を大切にしましょう。

3日間　2/25　3/4　3/11

対象　満18歳以上、定員30名
日時　2月25日(金) 10:00－17:00
　　3月 4日(金) 10:00－17:00
　　3月11日(金) 13:30－16:30
　　（連続する内容です。3回ともご参加下さい）
持ち物　鉛筆、スケッチブックなど
参加費　6,300円

＊日本画の経験のないかたでも大丈夫です。



作家アトリエ風景

お問い合わせ●横浜市民ギャラリー　〒231-0031横浜市中区万代町1－1 教育文化センター内　tel 045-224-7920　fax 045-224-7928
e-mail ycag@nifty.com　URL http://www.city.yokohama.jp/me/ycag/